

<p>23:13 しかし、忌わしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは、人々から天の御国をさえぎっているのです。自分もはいらず、はいろうとしている人々をもはいらせないのです。</p> <p>23:14 忌わしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは、やもめたちの家を食いつぶしていながら、見えのために長い祈りをするからです。ですから、あなたがたは、人一倍ひどい罰を受けます。]</p> <p>23:15 忌わしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。改宗者をひとりつくるのに、海と陸とを飛び回り、改宗者ができると、その人を自分より倍も悪いゲヘナの子にするからです。</p> <p>23:16 忌わしいものだ。目の見えぬ手引きども。あなたがたはこう言う。『だれでも、神殿をさして誓ったのなら、何でもない。しかし、神殿の黄金をさして誓ったら、その誓いを果たさなければならぬ。』</p> <p>23:17 愚かで、目の見えぬ人たち。黄金と、黄金を聖いものにする神殿と、どちらがたいせつなのか。</p> <p>23:18 また、こう言う。『だれでも、祭壇をさして誓ったのなら、何でもない。しかし、祭壇の上の供え物をさして誓ったら、その誓いを果たさなければならぬ。』</p> <p>23:19 目の見えぬ人たち。供え物と、その供え物を聖いものにする祭壇と、どちらがたいせつなのか。</p> <p>23:20 ですから、祭壇をさして誓う者は、祭壇をも、その上のすべての物をもさして誓っているのです。</p> <p>23:21 また、神殿をさして誓う者は、神殿をも、その中に住まわれる方をもさして誓っているのです。</p> <p>23:22 天をさして誓う者は、神の御座とそこに座しておられる方をさして誓うのです。</p> <p>23:23 忌わしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは、はつか、いのんど、クミンなどの十分の一を納めているが、律法の中ではるかに重要なもの、すなわち正義もあわれみも誠実もおろそかにしているのです。これこそしなければならぬことです。ただし、他のほうもおろそかにしてはいけません。</p> <p>23:24 目の見えぬ手引きども。あなたがたは、ぶよは、こして除くが、らくだのみこんでいます。</p> <p>23:25 忌わしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは、杯や皿の外側はきよめるが、その中は強奪と放縦でいっぱいです。</p> <p>23:26 目の見えぬパリサイ人たち。まず、杯の内側をきよめなさい。そうすれば、外側もきよくなります。</p> <p>23:27 忌わしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは白く塗った墓のようなものです。墓はその外側は美しく見えても、内側は、死人の骨や、あらゆる汚れたものがいっぱいのように、</p> <p>23:28 あなたがたも、外側は人に正しいと見えても、内側は偽善と不法でいっぱいです。</p> <p>23:29 忌わしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは預言者の墓を建て、義人の記念碑を飾って、</p> <p>23:30 『私たちが、先祖の時代に生きていたら、預言者たちの血を流すような仲間にはならなかつたらう。』と言います。</p> <p>23:31 こうして、預言者を殺した者たちの子孫だと、自分で証言しています。</p> <p>23:32 あなたがたも先祖の罪の目盛りの不足分を満たしなさい。</p> <p>23:33 おまえたち蛇ども、まむしのすえども。おまえたちは、ゲヘナの刑罰をどうしてのがれることができよう。</p>	<p>ここで「あなたがた」＝パリサイ人</p>
<p>23:34 だから、わたしが預言者、知者、律法学者たちを遣わすと、おまえたちはそのうちのある者を殺し、十字架につけ、またある者を会堂でむち打ち、町から町へと迫害して行くのです。</p> <p>23:35 それは、義人アベルの血からこのかた、神殿と祭壇との間で殺されたバラキヤの子ザカリヤの血に至るまで、地上で流されるすべての正しい血の報復があなたがたの上に来るためです。</p> <p>23:36 まことに、あなたがたに告げます。これらの報いはみな、この時代の上に来ます。</p> <p>23:37 ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。</p> <p>23:38 見なさい。あなたがたの家は荒れ果てたままに残される。</p> <p>23:39 あなたがたに告げます。『祝福あれ。主の御名によって来られる方に。』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。』</p>	<p>この「世代」の上</p> <p>神殿はもうはや神の家ではなく、「あなた方の家」になる</p> <p>荒れ果て=Desolate = マタイ 24:15, ダニエル 9:27</p>
<p>24:1 イエスが宮を出て行かれるとき、弟子たちが近寄って来て、イエスに宮の建物をさし示した。</p> <p>24:2 そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「このすべての物に目をみはっているのでしょうか。まことに、あなたがたに告げます。ここでは、石がくずされずに、積まれたまま残ることは決してありません。』</p>	<p>ここ以降あなた方は弟子</p>
<p>24:3 イエスがオリブ山ですわつておられると、弟子たちが、ひそかにみもとに来て言った。「お話しください。いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。あなたの来られる時や世の終わりに、どんな前兆があるのでしょうか。』</p>	<p>二つの質問が、別々に答 えられます。</p> <p>Apocalypse/Tribulation (苦難) 24:3-24:35 Parousia/Second Coming (再臨) 24:36-25:46</p>
<p>【苦難 Apocalypse/Tribulation】 【再臨とつながっているかな?? 惑いやすい程度：低】</p>	
<p>24:4 そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「人に惑わされないように気をつけなさい。</p> <p>24:5 わたしの名を名のる者が大ぜい現われ、『私こそキリストだ。』と言って、多くの人を惑わすでしょう。</p>	<p>偽キリスト 使徒 5:36-37</p>
<p>24:6 また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たではありません。</p> <p>24:7 民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、</p> <p>24:7b 方々にききんと地震が起こります。</p>	<p>ユダヤ戦争</p>
<p>24:8 しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。</p> <p>24:9 そのとき、人々は、あなたがたを苦しいめに会わせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。</p>	<p>マタイ 27:54, 28:2, 使徒 4:31, 16:6 Josephus 第7巻10, 12章</p>
<p>24:10 また、そのときは、人々が大ぜいつまずき、互いに裏切り、憎み合います。</p>	<p>背教と裏切り ガラテヤ 1:6-7</p>
<p>24:11 また、にせ預言者が多く起こって、多くの人々を惑わします。</p> <p>24:12 不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。</p> <p>24:13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。</p>	<p>ローマ 16:17-18, 1ヨハネ 4:1; ガラテヤ 1:6-7; 使徒 13:6, など</p>
<p>【再臨とつながっているかな?? 惑いやすい程度：中】</p>	
<p>24:14 そしてこのみ国の福音が全世界にのべ伝えられて、すべての民への証となろう。そのときにこそ終わりが来よう。</p>	<p>Oikoumene ルカ 2:1 使徒 2:5 コロサイ 1:23</p>

<p>24:15 それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす憎むべき者』が、聖なる所に立つのを見たならば、 (読者はよく読み取るように。) 24:16 そのときは、ユダヤにいる人々は山へ逃げなさい。 24:17 屋上にいる者は家の中の物を持ち出そうと下に降りてはいけません。 24:18 畑にいる者は着物を取りに戻ってはいけません。 24:19 だが、その日、悲惨なのは身重の女と乳飲み子を持つ女です。 24:20 ただ、あなたがたの逃げるのが、冬や安息日にならぬよう祈りなさい。</p>	<p>ダニエル 9:27 この「世代」 vv34 [あなたがた]見たならば ルカ 21:20 「... エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら...」</p>
<p>24:21 そのときには、世の初めから、今に至るまで、いまだかつてなかったような、またこれからもないような、ひどい苦難があるからです。 24:22 もし、その日数が少なくされなかったら、ひとりとして救われる者はないでしょう。しかし、選ばれた者のために、その日数は少なくされます。</p>	<p>これからもない</p>
<p>24:23 そのとき、『そら、キリストがここにいる。』とか、『そこにいる。』とか言う者があっても、信じてはいけません。 24:24 にせキリスト、にせ預言者たちが現われて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをして見せます。 24:25 さあ、わたしは、あなたがたに前もって話しました。 24:26 だから、たとい、『そら、荒野にいらっしゃる。』と言っても、飛び出して行ってはいけません。『そら、へやにいらっしゃる。』と聞いても、信じてはいけません。</p>	<p>偽キリスト 熱心党は他のメシヤを立て上げて、ローマと戦った。 注) この時は再臨ではない 2テモテ 2:17-18</p>
<p>24:27 人の子の来るのは、いなくが東から出て、西にひらめくように、ちょうどそのように来るのです。</p>	<p>比較のためここで括弧、印あるのはこの苦難、印ないのは再臨</p>
<p>24:28 死体のある所には、はげたかが集まります。</p>	<p>ローマ帝国の旗の鷲</p>
<p>【再臨とつながっているかな?? 惑いやすい程度：高】</p>	
<p>24:29 だが、これらの日の苦難に続いてすぐに、太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は天から落ち、天の万象は揺り動かされます。</p>	<p>霊的な光、全宇宙の絶滅ではない。参考： イザヤ 13:9-11 エゼキエル 32:7-8 アモス 8:9-10 ミカ 3:6 エレミヤ 15:9</p>
<p>24:30 そのとき、人の子のしるしが天に現われます。すると、地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見るのです。</p>	<p>印：現物ではない 乗って来る：天から見る ダニエル 7:13-14, マタイ 28:18-20 「来る」=erchomenon... Parousiaではない! マタイ 16:28, マルコ 9:1, ルカ 9:27 地：ユダヤです。全世界ではない 種族：イスラエルの部族</p>
<p>24:31 人の子は大きなラッパの響きとともに、御使いたちを遣わします。すると御使いたちは、天の果てから果てまで、四方からその選びの民を集めます。 24:32 いちじくの木から、たとえを学びなさい。枝が柔らかくなって、葉が出て来ると、夏の近いことがわかります。 24:33 そのように、これらのことのすべてを見たら、あなたがたは、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。</p>	<p>福音は全世界の選ばれた人へ。神殿から神の臨在が出ていく、引き離れる。 マタイ 23:38</p>
<p>24:34 まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。 24:35 この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません。</p>	<p>この世代に起こります。 この言葉は信頼できる！</p>
<p>【再臨 Parousia】</p>	
<p>24:36 ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも知りません。ただ父だけが知っておられます。</p>	<p>上記の Apocalypse と比べて、parousia は印がない、弟子直接に対する言葉がほとんどない</p>
<p>24:37 人の子が来るのは、ちょうど、ノアの日のようなからです。 24:38 洪水前の日々は、ノアが箱舟にはいるその日まで、人々は、飲んだり、食べたり、めとったり、とついだりしていました。 24:39 そして、洪水が来てすべての物をさらってしまうまで、彼らはわからなかったのです。人の子が来るのも、そのとおりです。</p>	<p>Noah 印がないよ、用意して 来る：parousia</p>
<p>24:40 そのとき、畑にふたりいると、ひとりを取られ、ひとりが残されます。 24:41 ふたりの女が臼をひいていると、ひとりを取られ、ひとりが残されます。 24:42 だから、目をさましていなさい。あなたがたは、自分の主がいつ来られるか、知らないからです。</p>	<p>印がないよ 弟子たちはこの日、この時を知らない。</p>
<p>24:43 しかし、このことは知っておきなさい。家の主人は、どろぼうが夜の何時に来ると知っていたら、目を見張っていたでしょうし、また、おめおめと自分の家に押し入れられはしなかったでしょう。</p>	<p>印がないよ</p>
<p>24:44 だから、あなたがたも用心していなさい。なぜなら、人の子は、思いがけない時に来るのですから。</p>	<p>印がないよ、用意して 弟子たちは用意して</p>
<p>24:45 主人から、その家のしもべたちを任されて、食事時には彼らに食事をきちんと与えるような忠実な思慮深いしもべとは、いったいだれでしょうか。 24:46 主人が帰って来たときに、そのようにしているのを見られるしもべは幸いです。 24:47 まことに、あなたがたに告げます。その主人は彼に自分の全財産を任せるようになります。 24:48 ところが、それが悪いしもべで、『主人はまだまだ帰るまい。』と心の中で思い、 24:49 その仲間を打ちたたき、酒飲みたちと飲んだり食べたりし始めていると、 24:50 そのしもべの主人は、思いがけない日の思わぬ時間に帰って来ます。 24:51 そして、彼をきびしく罰して、その報いを偽善者たちと同じにするに違いありません。しもべはそこで泣いて歯ざしりするのです。</p>	<p>印がないよ 用意して 弟子たちにも全財産は任されるよ。。。</p>

<p>25:1 そこで、天の御国は、たとえて言えば、それぞれがともしびを持って、花婿を出迎える十人の娘のようです。</p> <p>25:2 そのうち五人は愚かで、五人は賢かった。</p> <p>25:3 愚かな娘たちは、ともしびは持っていたが、油を用意しておかなかった。</p> <p>25:4 賢い娘たちは、自分のともしびといっしょに、入れ物に油を入れて持っていた。</p> <p>25:5 花婿が来るのが遅れたので、みな、うとうとして眠り始めた。</p> <p>25:6 ところが、夜中になって、『そら、花婿だ。迎えに出よ。』と叫ぶ声がした。</p> <p>25:7 娘たちは、みな起きて、自分のともしびを整えた。</p> <p>25:8 ところが愚かな娘たちは、賢い娘たちに言った。『油を少し私たちに分けてください。私たちのともしびは消えそうです。』</p> <p>25:9 しかし、賢い娘たちは答えて言った。『いいえ、あなたがたに分けてあげるにはとうてい足りません。それよりも店に行って、自分のをお買いなさい。』</p> <p>25:10 そこで、買いに行くと、その間に花婿が来た。用意のできていた娘たちは、彼といっしょに婚礼の祝宴に行き、戸がしめられた。</p> <p>25:11 そのあとで、ほかの娘たちも来て、『ご主人さま、ご主人さま。あけてください。』と言った。</p> <p>25:12 しかし、彼は答えて、『確かなところ、私はあなたがたを知りません。』と言った。</p> <p>25:13 だから、目をさましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないからです。</p>	<p>印がないよ 用意して</p> <p>弟子たちはこの日、この時を知らない。</p>
<p>25:14 天の御国は、しもべたちを呼んで、自分の財産を預け、旅に出て行く人のようです。</p> <p>25:15 彼は、おのおのその能力に応じて、ひとりには五タラント、ひとりには二タラント、もうひとりには一タラントを渡し、それから旅に出かけた。</p> <p>25:16 五タラント預かった者は、すぐに行って、それで商売をして、さらに五タラントもうけた。</p> <p>25:17 同様に、二タラント預かった者も、さらに二タラントもうけた。</p> <p>25:18 ところが、一タラント預かった者は、出て行くと、地を掘って、その主人の金を隠した。</p> <p>25:19 さて、よほどたつてから、しもべたちの主人が帰って来て、彼らと清算をした。</p> <p>25:20 すると、五タラント預かった者が来て、もう五タラント差し出して言った。『ご主人さま。私に五タラント預けてくださいましたが、ご覧ください。私はさらに五タラントもうけました。』</p> <p>25:21 その主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんのお金を任せよう。主人の喜びをともに喜んでくれ。』</p> <p>25:22 二タラントの者も来て言った。『ご主人さま。私は二タラント預かりましたが、ご覧ください。さらに二タラントもうけました。』</p> <p>25:23 その主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんのお金を任せよう。主人の喜びをともに喜んでくれ。』</p> <p>25:24 ところが、一タラント預かっていた者も来て、言った。『ご主人さま。あなたは、蒔かない所から刈り取り、散らさない所から集めるひどい方だとわかっていました。』</p> <p>25:25 私はこわくなり、出て行って、あなたの一タラントを地の中に隠しておきました。さあどうぞ、これがあなたの物です。』</p> <p>25:26 ところが、主人は彼に答えて言った。『悪いなまけ者のしもべだ。私が蒔かない所から刈り取り、散らさない所から集めることを知っていたというのか。』</p> <p>25:27 だったら、おまえはその私の金を、銀行に預けておくべきだった。そうすれば私は帰って来たときに、利息がついて返してもらえたのだ。</p> <p>25:28 だから、そのタラントを彼から取り上げて、それを十タラント持っている者にやりなさい。』</p> <p>25:29 だれでも持っている者は、与えられて豊かになり、持たない者は、持っているものまでも取り上げられるのです。</p> <p>25:30 役に立たぬしもべは、外の暗やみに追い出さない。そこで泣いて歯ざしりするのです。</p>	<p>用意して 膳を行いなさい</p>
<p>25:31 人の子が、その栄光を帯びて、すべての御使いたちを伴って来るとき、人の子はその栄光の位に着きます。</p> <p>25:32 そして、すべての国々の民が、その御前に集められます。彼は、羊飼いが羊と山羊とを分けるように、彼らをより分け、</p> <p>25:33 羊を自分の右に、山羊を左に置きます。</p> <p>25:34 そうして、王は、その右にいる者たちに言います。『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい。』</p> <p>25:35 あなたがたは、わたしが空腹であったとき、わたしに食べる物を与え、わたしが渴いていたとき、わたしに飲ませ、わたしが旅人であったとき、わたしに宿を貸し、</p> <p>25:36 わたしが裸のとき、わたしに着る物を与え、わたしが病気をしたとき、わたしを見舞い、わたしが牢にいたとき、わたしをたずねてくれたからです。』</p> <p>25:37 すると、その正しい人たちは、答えて言います。『主よ。いつ、私たちは、あなたが空腹なのを見て、食べる物を差し上げ、渴いておられるのを見て、飲ませてあげましたか。』</p> <p>25:38 いつ、あなたが旅をしておられるときに、泊まらせてあげ、裸なのを見て、着る物を差し上げましたか。』</p> <p>25:39 また、いつ、私たちは、あなたのご病気やあなたが牢におられるのを見て、おたずねしましたか。』</p> <p>25:40 すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。』</p> <p>25:41 それから、王はまた、その左にいる者たちに言います。『のろわれた者ども。わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火にはいれ。』</p> <p>25:42 おまえたちは、わたしが空腹であったとき、食べる物をくれず、渴いていたときにも飲ませず、</p> <p>25:43 わたしが旅人であったときにも泊まらせず、裸であったときにも着る物をくれず、病気のときや牢にいたときにもたずねてくれなかった。』</p> <p>25:44 そのとき、彼らも答えて言います。『主よ。いつ、私たちは、あなたが空腹であり、渴き、旅をし、裸であり、病気をし、牢におられるのを見て、お世話をしなかったのでしょうか。』</p> <p>25:45 すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、おまえたちに告げます。おまえたちが、この最も小さい者たちのひとりにしなかったのは、わたしにしなかったのです。』</p> <p>25:46 こうして、この人たちは永遠の刑罰にはいり、正しい人たちは永遠のいのちにはいるのです。』</p>	<p>用意して 膳を行いなさい</p>